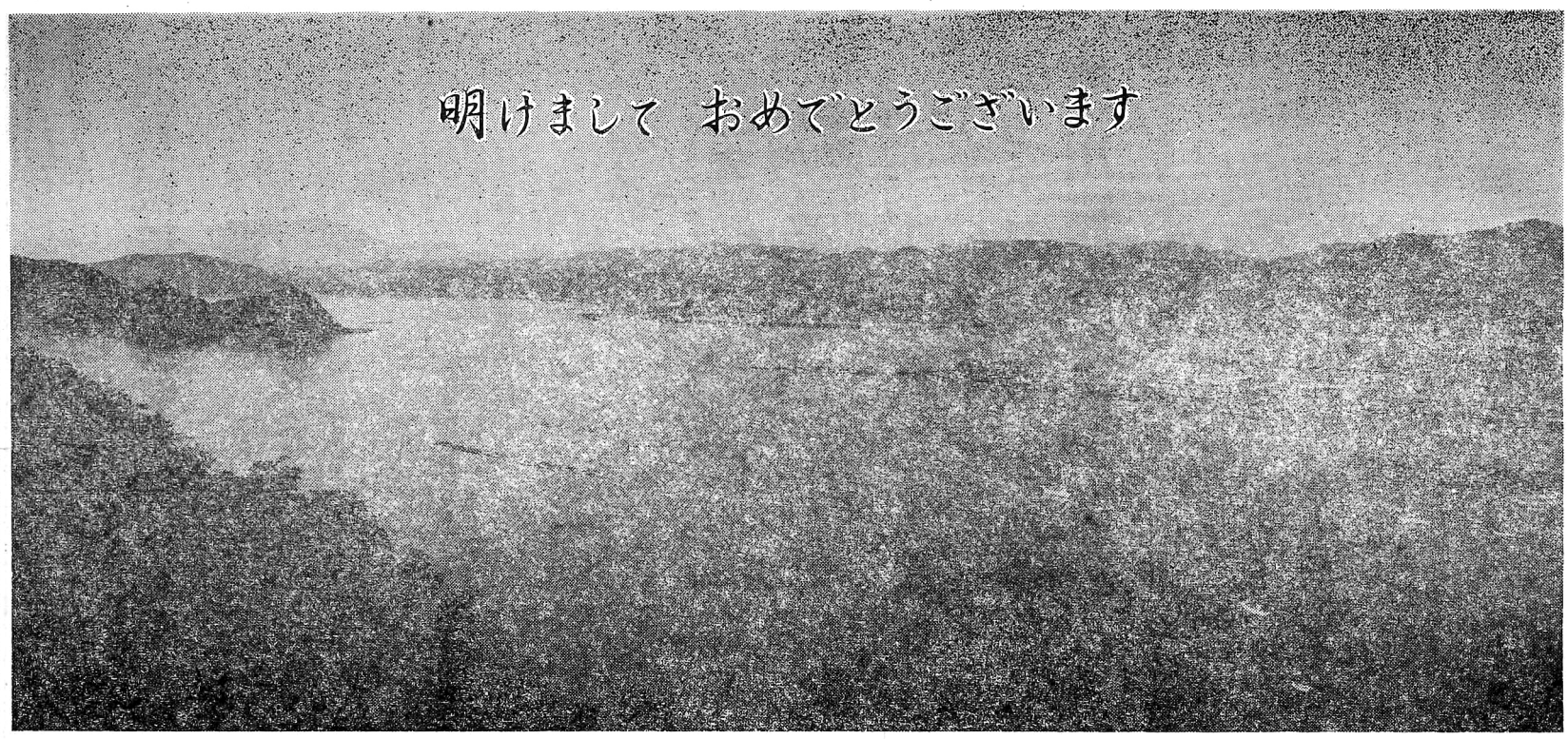


町報

第144号

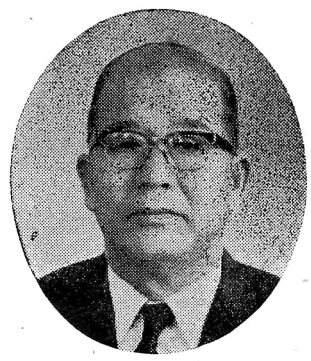
発行所
宮崎県門川町
門川町役場
電話③1140番

印刷所
宮崎県門川町
工藤印刷
電話③1143番

あけまして
おめでとうございます
工藤印刷

年頭のご挨拶

門川町長　金丸次蔵



みなさん
明けまして
おめでとう
ございます

昭和四十八年の新春を迎え、みなさまのご健康を心からお慶び申し上げますとともに、平素から町政に対するご理解とご支援に対し深く感謝申し上げます。

昨年もおかげをもちまして、町議会のご協賛を得て計画いたしました諸般の事業も順調な進捗率を示し計画どおり達成できる見込みでありますが、これらの事業が完成の暁は住民福祉の向上に貢献するものと期待いたしておるところであります。

もつとも、町政の現況は満足すべきものではなく、全分野にわたり、今後一段と積極的な施策が要請されるところでありますので、町議会と密接な提携を保ちながら、限られた乏しい財政力ではありますが、町勢発展の基盤整備に取り組んで参りたいと存じております。

又これとあわせて、町民生活に直結したきめの細かい施策すなわち、長期総合計画における

「住みよい町づくり」
「豊かな町づくり」
「生きがいのある町づくり」

この三つの指標をめざして懸命に努力いたす所存でありますが、この三つの指標は、言葉としては美しく口にすることもたやすいことではありますが、この理想を達成することが如何に難しいことであるかは申し上げるまでもありません。

ただ、去年よりは今年、今年よりは来年と一歩二歩とたゆまざる努力を積み重ねるならば、この理想に大きく近づくことは決して不可能なことではないと信じます。

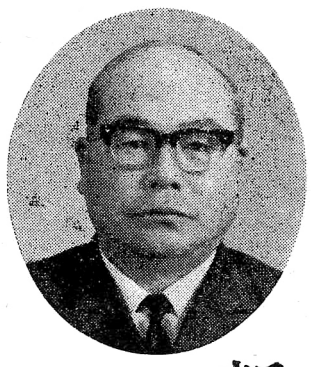
昭和四十六年度決算の結果、町税の徴収率は普通税九九、五%、保険税九七、六%という秀れた実績がでたのでありますが、これはひとえにみなさん方の町政に対する理解と協力を事実として物語るものであると信じます。

ここに厚くお礼申し上げますとともに、町政に対するご意見ご批判を卒直にお聞かせいただいて、みなさんとともに考え推進する町政でありたいものと念願いたすものであります。

今後におきましても町政に対し一層のご協力をお願い申し上げ、あわせてみなさんのご多幸を心からお祈り申し上げまして新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

門川町議会議長　山本惣太郎



希望と期待に満ちた新らしい年がまぶしいまでの陽光と共に訪れてまいりました。

ここに昭和四十八年の新春を迎えるにあたり、心からご祝詞を申し上げると共に本年もまた、お互いに健康で幸多き明るい年でありますよう祈念いたすものであります。

今日における我が国の社会経済は、急激な勢いで変貌しつつあり、国際社会での地位は益々高まつてまいりました。

昨年中には、国民永年の悲願でありました沖縄復帰が、更にまた日中国交回復が実現し、内政面では公害問題、物価問題或は列島改造など数多くの問題をかかえ、それは政治、経済の各分野で大きく取上げられようとしております。

一方、本町をとりまく諸情勢も好むと好まざるにかかわらず複雑多様化して、これらに対応する町政もまた一段と復雑困難性を加えており、住民の行政需要をみたすためには、高度の行政力が要請されるところであります。

いまさら申し上げるまでもなく議会は、住民を代表して住民の意思を町政に反映させると共に、地方公共団体の意思決定機関として諸政策について議決し、執行機関とならんで、あたかも車の両輪の如くそれぞれの権能、立場を尊重理解しながら行政に参画し、住民の信託に応えて行かなければならない責務を負わされているのであります。

このような基本的理念に立つて本町議会といたしましても、執行機関と共に、その権能を尊重しつゝ、相協力して行政の推進に努めてまいつたのでありますがこのような態勢は今後とも更に維持され、かつ強化されてゆかなければならないものでありまして、議員各位とも、そのことは、よく認識いたし、明るく、豊かな、住みよい郷土づくりのために一体となつて努力してまいりたい所存でございます。

昨年末に組閣された第二次田中内閣は、当面する内政の問題として公害、物価列島改造などの諸々の問題をかかえ、福祉充実の方向に移行しつつあり、これらの動向をよく見きわめながら住民の生活向上のために社会生活環境等の整備促進に積極的に取組むなど、適切な施策を実施してゆかなければならないと思うのであります。

今までにも、住民生活文化の向上と福祉の増進を図るために、それぞれの市町村において各種事業、或は対策に真剣に取組んでおりますが、町議会といたしましても、本町のもつ立地条件や特殊性を生かすような方向で審議検討を加え遺漏のないよう充分配慮してまいりたいと存じております。

特に、本町は日向、延岡市にはさまれている地理的条件に加え、更に町独自の計画的な地域開発によつて都市化の一途を辿っており道路交通網の整備と相俟つて同一経済生活圏域として広域行政的要素が漸次高まつている現状であります。

最近における社会経済の急激な変動は、あらゆる面に波及して深刻化し、それを裏づけるかのように行政に対するところの住民の要望も増加しているのであります。

これらの住民要望をみたすためには計画効率的な行政執行が希求されるところで、年々地方行政は困難性を加えております。

このような事態に対処して行くために本町の現況を適確に把握し、長期的な展望に立つて行政を推進してゆく上で基本となる長期総合計画も昨年中、策定議決し、その線に添い、明るく豊かな住みよい郷土づくりのために諸々の事業が年次的に推進されて行くことになつております。

私たち、議会に籍をおく者としては、住民の代表機関として、その責務の重大なることを一段と自覚し、つねに住民の意思が奈辺にあるかを洞察し、公正なる判断と良識をもつて、それを町政に反映させると共に執行部と相携えて本町発展と住民福祉の向上のためになお一層の努力をしてまいりたいと決意を新たにするものであります。

平和で、明るい、わが門川町が、昭和四十八年は更に躍進し、繁栄すると共に皆さまにとりましても最良の年でありますよう祈念して新年のご挨拶といたします。

消防始式の御案内

新春劈頭を飾る恒例の本町消防始式を、左記により行ないます。

世界でも最も古い伝統を持つと言われる消防も時代とともにその内容も大きく変つて参りましたが、その消防精神は何ら昔と変らないものと思います。

又、消防施設面においても相当充実して来てはおりますが、それに増して最近、火災の対象物も又多様化しているため、一旦火災が発生すると大火につながるケースが多くなつています。

消防業務については言うまでもなく、非常の場合は、一般民衆もこれに協力しなければならないと法律で定めてあるとおり、消防団と地元住民とが一体となつて始めて自治体消防としての意義もあると思います。

町民の皆さんも消防始式において本町消防団の全容を見ていただくとともに、地元消防の志気高揚の御声援願いたいと思います。

記

一、とき
昭和四十八年一月四日
午前八時　式　開式
正午　閉式

二、場所
尾末漁協西側埋立地

三、式順
分列行進(八時)
通常点検(八時三十分)
放水点検(九時三十分)

河川・海の……美化について

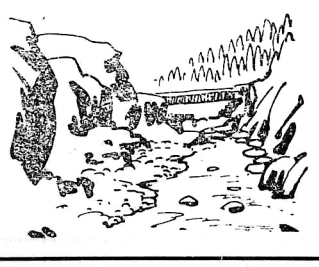
海や河川のきれいなことでは誇りをもっていました門川町も、最近いろいろな汚物で、海や河川が汚染されつつあり、このまま放置されるならば、将来はとりかえしのつかない死の海となることが心配されます。

町民の皆さん本日から海や河川を守るよう、ごみ類を捨てないように特別の御協力を御願いいたします。

汚物の中で特に始末の悪るいものがビニール類であります。このビニール類は多量の生産と、簡単に利用出来ることから、最近ではなくてはならない必需品として、取引され、年々量も増加しております。

しかし、これが一度不要になると捨場にこまるのが現状です。そこで、皆様にお伺い致しますが、皆様の家庭ではどのような処分をしていますか、驚ことにこれ等不要物を河川や海に捨てる人があとをたたないことであります。ビニール類は水にとけない性質上、このままでは沿岸、漁業はもちろん、夏が来ても水泳も出来なくなるのではないかと心配するものであります。

この様なことを未然に防ぐため、そして住み良い町を築くため、チリ特にビニール等は焼却して絶対捨てないようにお互に注意しましょう。



（た）（ば）（こ）

消費税について

たばこを世界にひろめたのは、コロンブスというのが定説になっていますが、日本に、はじめて伝えられたのは天文十二年（一五四三年）種子島へメンデス、ピントウのひきいるポルトガル船が漂着したときといわれていますから約四〇〇年前の古い話しになります。このように古くから愛煙家に親しまれてきて、現在のたばこが誕生したといえるでしょう。

最近では品質のよいもの、より新しいものを求める傾向が強く、専売公社では、中央研究所をはじめ、全国に点在するたばこ試験場、機械製作所、製造試験場がそれぞれ専門的に研究し、最高のたばこづくりに努力しています。

また、たばこについて他の面から見ると、たばこ事業は、国の事業でありますから、国へ納付する専売納付金というのがあります。もう一つは、たばこ消費税です。

ここでは、たばこ消費税について話しましょう。

たばこ消費税は、その売上げによって都道府県、市町村に専売公社から納められることになります。

たばこ消費税は、各地の公共施設の大きな財源として、豊かな町づくりに貢献しているといえるのではないでしょうか。

「門川町内のたばこの売上げが増えれば、町の財源もそれだけ豊かになり、みなさんへ還元もできます。たばこ消費税は、使い方が前もって決められている特定財源とはちがい、町が必要に応じ、民生土木、教育事業などに自由に使えるものです。したがって、専売公社はもちろんの事ですが、門川町としても、その伸びを大いに期待したいところです。」

このようにして、暗い夜道にともる街灯、安心して渡れる歩道橋、いこいの場所である小公園、福祉センター、そして体育施設などたばこ消費税はあなたの町あなたの身近でお役にたっているのです。そのような事から門川町のみなさん、たばこは国をつくり、町を明るくいたしますから、たばこは是非「町内」で買うようにして下さい。

町報をおかりして申し上げましたが、さらに愛煙家のご期待にそうよう努力してまいりたいと思います。たばこについてのご希望とか、ご不満とか、お気づきになった点は、公社（日向営業所）または販売店へご遠慮なくお申しつけください。

はい　こちらは　門川派出所です

一、冬休みの心得について

町内各学校とも、十二月二十四日から一月七日まで冬休みに入りましたが、児童生徒の各種事故を防止するため、補導関係者会議で冬休みの心得として次のとおり決定しましたので、保護者の皆さんは子供さんの身辺に気をつけられ、ぜひご協力下さるようお願いします。

㈠外出時の服装
　制服とする
㈡飲食店、ボーリング場等への立入り
　原則として禁止する。
　ただし父母同伴の場合は認める。未成年の兄等の同伴は認めない。
㈢帰宅時間
　小中学校　午後五時
　高　校　午後七時
㈣街頭補導
　教委、学校、補導員、警察で随時街頭補導を行う

二、年末年始の交通事故防止運動について

昭和四十六年度の日向署管内の死亡事故は前年の二十一名をこえ、二十三名となり今までの最高記録となりました。もうこれ以上の死亡事故を出さないため年末から一月十日まで年末年始の交通事故防止運動期間と定め

㈠子供と老人の事故防止
㈡飲酒運転、過労運転など無暴運転の防止
　を重点に定め門川町では
○交通安全旗の掲揚
○広報車による広報
○ポスターの掲示
などを行なって、啓蒙につとめています。

老人、子供さんは

○少し遠まわりでも安全なところで横断する
○手を上げて右みて左みてもう一度右をみて安全をたしかめてから横断する
○車が一時停止したら手を上げて「ありがとう」と感謝する
○車の直前直後を横断しない
○道路への飛び出しをしない

自転車乗りは

○右左折時の手信号の励行
○広い道路に出る時の安全確認の励行

運転者は

○正しい徐行と一時停止の励行
○飲酒運転の絶滅
などを是非お願いします。

三、猟銃事故の防止について

○日没後のカモうち
○猟銃の自家用車内保管による盗難被害
○人を獲物と間違えて発射する
などの事件が発生しています。こんなことはもうごめんです。

昭和四十八年度　新入学児童調査について

該当児童

昭和四十一年四月二日より昭和四十二年四月一日までに生まれた者

昭和四十八年度の新入学児童につきましては、住民基本台帳により調査し、只今左記の通り名簿作成中であります。転入、転出、その他調査の時点などの関係で調査もれ、住所、氏名（文字）の**あやまり**のある場合は当教育委員会宛早目にご連絡くださるようお願いします。

入学式は四月上旬になります。その間一月下旬から二月下旬にかけて新入学児童の健康診断と知能検査を実施いたしますが、その期日については、後日保護者宛お知らせいたします。

尚身体その他の事情で本年度入学が困難である場合は、就学猶予、免除、養護学校（施設）への手続き等についてご相談したいと存じますので、教育委員会までおいでください。

松瀬分校
井野内さゆり　靖
西門川小学校
小林　洋一　済
志田　照美　邇
寺原　孝弘
本田　晴美　速美
松本　望　潤一
松本　昭人　利幸
本田ちはる　惇
和己
三ケ瀬
茂充　照央
猪倉　悦郎　神谷庄一郎
山本　光男　郁夫
川西　則和　安則
甲斐　美芳　忠俊
黒木　初田　幸子　英治
藤岡　正徳　英生
大内原
神井久美子　武一郎
門川小学校
小松
内山　宏　教彦
古谷はるみ　尊幸
藤本美智子　宝集
水永　清子　和
小園
小野　美香　美敏
小野　知美　孝行
粕田ひとみ　晴美
高橋今朝美　三男
宮田　浩二　重喜
城屋敷
金田　茂樹　茂遠
田原　智子　岩切洋子
長岡　寿　岩崎裕子
松本　正雄　吉郎隆治
中山
奈須　昭仁　義男
奈須　元義　康功
米良　清史
竹名
河野さつき　佐藤美保子　久雄
奈須八重子　津弥太
五十鈴
粟田　美貴　満生
尾形　美野　冬美
金丸　知広　定夫
金丸　美恵
金丸　健一
金丸　実伸
神井　秋通
黒木　宏恵
児玉　恵美
児玉千佳子
古賀　香
長友　純二
長友　真二
山中　安子
吉田　直樹
南町
池田　秀男　椎原　亮
小野　由美　佐藤　久雄
金丸　和代　古谷　宗憲
神谷　宏　黒木　克子
木下　由美　川崎　尚美
黒木　美紀　河野　育美
五味　誠　川崎　陽子
園田　直　河野　久美
高橋　靖彦　岩崎　裕子
橋本由香里　岩切　洋子
橋口　弘　赤木　洋子
古田　増朗
松永　利勝
山口政一郎
上の町
浅田恵美子　中村　潤　石川万寿夫
小川　潤　今井　律子
甲斐　由美　岡田　妙子
甲斐　睦子　河野　浩
長友　美喜　鎌倉　恥子
水永　智　斉藤　傑矢
本町　矢野　信吾
佐藤　和子
長友　亮二
長友　輝文
奈須　彰
松井　浩一
松浦正二郎
山沢　智子
東栄町
西栄町
赤沢智佳子
石井　宏
衣笠　洋子
浜口多美子
平田いずみ
水永　智
米良　恥
吉田佐智子
吉野　晃
研　貴司
佐伯奈穂美
栄ケ丘
壱岐　弓子
榎田　正則
小野　操
大津　明美
金丸　英樹
甲斐　信幸
金子　幸一
川越　光彦
河野　一郎　純子
北林　光雄
佐伯　浩
鈴谷由美子
寺原　達也
徳永　利光
中野　広光
藤崎　進一
布施　光子
松沢　里美
森田　崇裕
中町
池田　宗春　義孝
姫野　克彦　正基
日高　美佳　盛義
広本　章　弘毅
浜田　拓也　安弥
日高　孝　政仁
阿部　健二　東操
上納屋三区
藤島　理恵　寿恵　義治
神戸　美薫　昭一
是沢　元洋　計広
黒田　伊勢　純男
上納屋二区
吉塚　広明　安子
山田　敬二　満　重夫
浜田　祥子　寿夫
浜本　隆　和夫
奈須　誠一　八郎
田口　昌子　敏男
島田　明仁　義広
小林　茂泰　久美子　敏雄
小林　俊幸　時寛　和子
上納屋一区
河野　尚人　辰雄　利治
柳田　知己　弘昭　誠覚
山野下　公展　好博
福永　修　岱男　正人
広本　節代　昇　忠之
田中真由美　光則　浜口多美子
城口寿晴　豊次郎　衣笠洋子
帯谷　育子　博之　石井　宏
河野　晴美　浅芳　赤沢智佳子
下納屋
安田　留美　剛　松本
池田　淳　姫野文範
勇美　吉年　初田和彦
正春　政彦　中浜　勇　淳一
十三
敏　信雄　中城良子
弘幸　明則　中田秀喜
軍治　国博　下田仁美
律夫　光行　椎原久雄
哲哉　久雄　佐藤亮
倉　敏広　古谷宗憲
太郎　竜也　黒木克子
幸明　川崎尚美
五美　河野育美
武治　川崎陽子
茂遠　河野久美
吉郎　義男　岩崎裕子
隆治　岩切洋子
康功　赤木洋子
東栄町
山沢　智子
松浦正二郎
松井　浩一
奈須　彰
長友　輝文
長友　亮二
佐藤　和子
斉藤　傑矢
鎌倉　恥子
河野　浩
岡田　妙子
今井　律子
石川万寿夫
本町
矢野　信吾
昌安　信義
里夫　地森
黒木　秀一
椿原　勝
森　悟
山口　佳代子
姫野　修
富
尾末東
倉沢　桂子
後藤　裕子
新庄藤　靖
中城　博文
後向
井戸　嘉代
黒木　加代
久米　幸子
黒木　淳
坂本　教昭
清水　美保
田中由加
椿原　靖
吉田　美子
神戸　幸子
黒木　嘉
中尾
赤沢　貢
岩切　豊一
金丸　嘉
敏広　竜也
河野　明
倉太郎
川崎　哲哉
河野　光行
川崎　久雄
岩崎　幸明
赤木　敏雄
旭町
黒木　伸一
椿原　秀一
森　悟
山口　健司
姫野　代子